

令和4年度 第3回 神久呂小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年11月17日（木） 14時00分から15時55分まで
- 2 開催場所 神久呂小学校 会議室
- 3 出席委員 谷野 協司、和久田 明弘、中村 典子、尾高 理恵、新村 貴文、川尻 尚純、渥美 洋乃
- 4 欠席委員 谷井 文明
- 5 学 校 山田 英明（校長）、中村 憲司（教頭）、辻村 真一（教務）、野澤 邦宏（CS担当）、早瀬 富美子（CS担当）、伊藤 由紀（CSディレクター）
- 6 教育委員会 清水 悠（浜松市教育委員会教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項
 - (1) 議長の選出について
 - (2) 熟議
 - ①学校評価について
 - ②学習支援ボランティアの成果と課題について（CSコーディネーターより）
- 9 会議録作成者 伊藤 由紀（CSディレクター）
- 10 会議記録

司会の尾高委員から、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

 - (1) 議長の選出について
川尻委員の立候補により、全員異議なくこれを承認した。
 - (2) 熟議
 - ①学校評価について
〈参観、学校の様子（中村教頭、辻村先生より）、学校評価を通して見える課題と改善策（辻村先生より）〉
○学校の様子、学校評価への感想、意見
 - ・どの学年も授業を集中して聞いている。発表は元気にできている。（中村委員）
 - ・テストをしている様子が見られて良かった。授業始めの挨拶がとても元気にできていて良かった。学習発表会では6年生の発表を見て感動した。（尾高委員）
 - ・低学年でも静かに集中して授業を聞いていて感心した。昼休みには全力で楽しむ様子が見られて良かった。また、体育の授業でクロムブックを使い、自分の課題を見つけて取り組んでいるところが良かった。登下校については、持ち物が多くて重い日があり大変そうなので改善できないか。（川尻委員）

- ・テストの様子を見て、みんな真面目にやっていて感心した。地域の主任児童委員として週1回登校の見守りをしているが、低学年は持ち物が多いと大変な印象である。習字セット、絵具セットは学校に置いておく等の対応はできないか。(渥美委員)
- ・コロナ感染対策においては保護者によって様々な意見があると思うが、子供たちの1年はかけがいのない1年であり、いろいろな活動を通しての経験が大切だと思う。(新村委員)
- ・ICTを活用しながらも、実体験や、対面での活動を進めていけることが理想だと思う。また、中学校では登下校時送迎している様子をよく見かけるが、神久呂小学校の実態はどうかお聞きしたい。(和久田副会長)
- ・資料の「教育活動についてのアンケート結果」について、保護者からは学校の様子がすべて見られるわけではないので、厳しい意見が多くなっているのだと思う。質問の文面を具体的にするとよりの確なアンケート結果となるのではないか。また、教師の働き方改革について、神久呂小学校の取り組みをお聞きしたい。ゆとりをもって働ける環境は、意欲をもって働くことができ、教師の指導力向上にもつながると思う。また、行政の取り組みも大切だと思う。(谷野会長)

〈中村教頭より〉

○保護者による送迎について

- ・基本的に登下校は徒歩でと考えている。自宅が遠い場合はバスを利用。
- ・車での送迎時に、車から降りて事故にあうことを心配している。路上に停車することによって、登校する他の児童が車道にはみ出して通行しなくてはいけなくなり危険である。
- ・保護者も心配されていると思うので、地域として交通安全についてボランティア意識が高まっていくと嬉しい。

○働き方改革について

- ・神久呂小学校では18時45分には帰宅するようにしている。
- ・会議、部活動の時間を減らしたり、業務の役割を見直したりして、チームで仕事を進める等、効率化を進めている。
- ・児童の成績は前後期制を導入し、時間に余裕をもてるようにしている。
- ・学習支援ボランティアとして地域の方に入っただき助かっている。
- ・校務アシスタントが配属され、印刷業務や採点業務を補助していただいている。

②学習支援ボランティアの成果と課題について

〈CSコーディネーター中村委員より〉

○活動報告

- ・今年度は学習支援ボランティア活動について知っていただく事を目標に活動している。今後も「気づき・考え、行動する」子供たちを、サポートするよう活動していく。
- ・家庭科のミシン学習支援ボランティアの方のアンケート結果では、好意的な意見をたくさんいただいている。今後、口コミで活動が広がり、ボランティアが増える事を期待している。また、さくら連絡網や地域の回覧でも徐々に周知が進んでいると思う。

○課題

- ・支援内容によってボランティアが集まりにくいこともある。

- ・今年度対応できなかった「下校の見守り」については、コミュニティ・スクールの活動として募集し、浜松市子ども安全ネットワーク安全事業の「子ども見守りボランティア」として、教育委員会健康安全課に申込みの上、御参加いただく、という方法をとりたい。
→いいと思います。(教育総務課)
- ・ミシンの学習支援ボランティアの方々より、授業中、児童へのどのような声掛けがいいのか困った、との意見があった。
→教科担任にその都度伝えていただければと思います。(早瀬先生)

〈意見〉

- ・ボランティアグループとして広がっていけば参加者が増えていくのではないか。(新村委員)
- ・ボランティアとしてのスキルがどのくらい必要か具体的に分かるようにすると参加しやすいのではないか。(和久田副会長)
- ・地域のシニアクラブの中にいろいろな活動があるので、代表者に声を掛けてみるとよいのではないか。(谷野会長)

(3) その他報告事項等

①学校運営協議会自己評価表について

- 評価項目4として「協議会の取組や学校運営に資する活動について、教職員、児童、保護者、地域に周知することができたか」を追加。
- 令和5年2月10日までに学校へ提出。

②CS担当教員から、次回会議は、令和5年2月17日(金)午後1時30分から神久呂小学校会議室で開催する旨の連絡があった。